

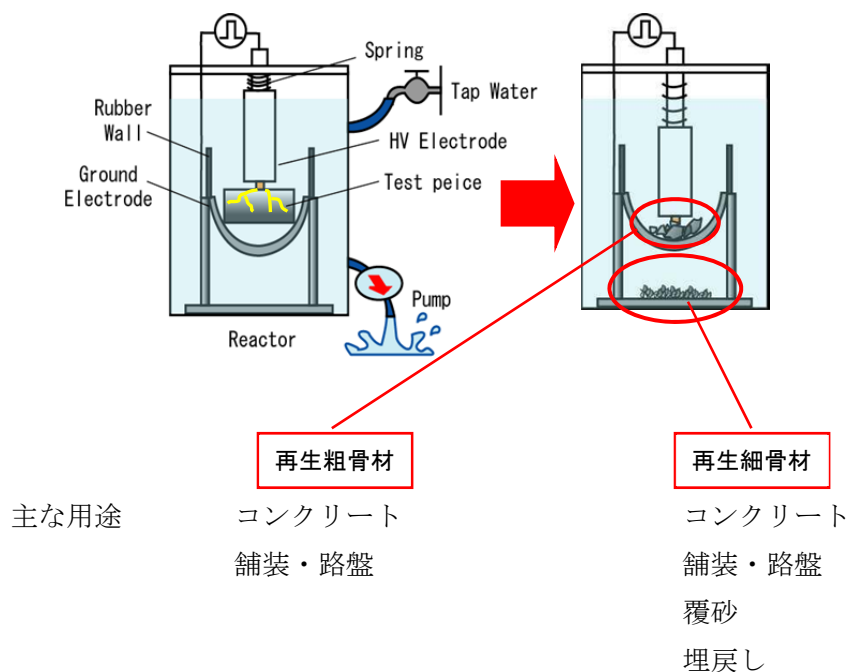
提案技術の概要

廃コンクリートの場合：

被災による大量の廃コンクリートより、「水中パルス放電法」により、粗骨材を分別・回収する。回収された再生粗骨材の品質は、通常のコンクリートに使用できる高品質なものから低品質なものまで任意に設定可能（高度再生処理）。



水中で処理するため、飛散物質が水中内に留まる。また微粒分自体の発生も抑えられる。



放射能汚染コンクリートの場合：

汚染レベルに応じた処分が可能で、高レベル汚染物質処理量が低減可能となる。

再生粗骨材
(硬岩＝汚染しにくい物質)
低レベル汚染物質

再生細骨材
(モルタル＝汚染しやすい物質)
高レベル汚染物質